

# 令和4（2022）年度 一橋大学大学院経済学研究科

## 修士課程学生募集要項（春季入試）

本研究科が目指すのは、最先端の経済学の知識と高度な分析能力を備え、複雑な経済社会の現象を的確に把握し、重要な課題を発見し、これを解決することができる研究者および実務家を育成することです。そのために本研究科の修士課程では、ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学、経済史の各分野において、コア科目を中心とする積み上げ方式のコースワークに基づいた体系的な教育システムを採用しています。また、修士専修コースでは、高度な専門知識を備えた実務家の育成を目的とする専門職業人養成プログラムも開設されています。したがって、本研究科に入学を希望する学生には、高い学習意欲と知的探究心を持ち、思考力と忍耐力を備え、経済学の基礎知識に加えて英語力を含むコミュニケーション能力を持っていることが望まれます。優秀な教授陣を擁し、世界的にもトップクラスにあると自負する私たちのプログラムに熱意ある学生が集まることを期待します。

### 1. 募集人員

本研究科の修士課程は、研究者養成コースと専修コースから構成されます。研究者養成コースは、博士後期課程への進学を前提として、広い視野に立って精深な学識を養い、高度の論理的思考能力と着想力、および先端的な研究能力を培うことを目的としています。専修コースは、修士号の取得で修了することを前提として、高度の専門性を要する職業等に必要の専門知識と分析能力、および実践的応用力を養うことを目的としています。専修コースの学生は、「公共政策」、「統計・ファイナンス」、「地域研究」または「医療経済」の4つの専門職業人養成プログラムのいずれかに参加することもできます。これらのプログラムへの参加選考については、入学後に説明します。なお、研究者養成コースと専修コースの修了要件は異なりますが、博士後期課程への進学要件は両コース共に同一です。

コース	専攻	募集人員
研究者養成コース	総合経済学	合わせて82名
専修コース		

注1) 募集人員には、「秋季入試」の募集人員も含まれます。

### 2. 出願資格

つぎの各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者および2022年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者および2022年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における十六年の課程を修了し、B.A.またはB.S.を取得した者および2022年3月までに取得見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における十六年の課程を修了した者および2022年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における十六年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号（5）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および2022年3月までに授与され

る見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が四年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項（大学院への飛び入学）の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者および2022年4月1日までに22歳に達する者

注1) 出願資格(9)による志願者は、2021年10月22日(金)までに経済学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

注2) 出願資格(10)による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査に必要な書類等を交付しますので経済学研究科事務室まで問い合わせてください。個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、2021年10月18日(月)から10月22日(金)までとします。入学資格審査結果は11月16日(火)頃に通知する予定です。

### 3. 出 願 書 類

	書 類 等	提 出 者	摘 要
1	入 学 志 願 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
2	卒業(見込)証明書等	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの、または大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。 上記出願資格(3)、(4)または(6)による志願者は、取得した学位(B.A.またはB.S.等)を明記した証明書をあわせて提出してください。 ただし、卒業見込みの者は卒業見込証明書をもって、また本学卒業(見込み)の者は成績証明書をもってこれに代えます。
3	写 真 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
4	成 績 証 明 書	全 員	出身大学等の学長または学部長等が作成したもの。
5	学 業 評 価 書	全 員	交付の用紙を用い、出身大学等の指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、 <u>厳封</u> したもの(日本語または英語)を1部。ただし、志願者の学習状況や研究能力等について十分な評価をなし得る者の学業評価書をもってこれに代えることができます。
6	「TOEFL®」の成績証明書	全 員 (英語が主に使われている国で学位を取得した者は除く)	2020年2月以降に実施された「TOEFL iBT®」の成績証明書。 (1) ETS から直接、一橋大学に公式の成績証明書が送付されるように手配してください。(本学の DI Code は 0436、経済学研究科の Department code は 84 Economics)。 (2) ETS から志願者本人に送付された成績証明書の写し、またはウェブサイトから印刷した成績証明書を提出してください。 *上記(1)と(2)の <u>両方</u> が必要です。 *TOEFL ITP®スコアの使用は認めません。 *Test Date スコアを有効スコアとし、My Best スコアは使いません。 *「TOEFL iBT® Home Edition」(自宅受験)の利用を認めません。 *ただし、英語が主に使われている国で学位を取得した場合には、TOEFL 成績証明書の提出を免除します。

7	日本留学試験（EJU）または日本語能力試験（JLPT）の成績証明書	外国籍を有し、入学時までの日本滞在期間が2年1ヶ月以下の者	提出する成績証明書に最低スコアやレベルの規定は設けません。提出する成績証明書は、2020年2月以降に実施された試験のものとしします。 【日本留学試験（EJU）の成績証明書を提出する場合】 独立行政法人日本学生支援機構が行う「日本留学試験（EJU）」の「日本語科目」の点数が記載された「成績に関する証明書」の写し、またはウェブサイトで印刷した「成績確認書」を提出してください。 【日本語能力試験（JLPT）の成績証明書を提出する場合】 独立行政法人国際交流基金および公益財団法人日本国際教育支援協会が行う「日本語能力試験（JLPT）」の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の写しを提出してください。
8	研究計画書	全員	これまでの学習成果および今後の研究計画（研究の目的・重要性・方法等）について、 <u>具体的かつ詳細に、日本語または英語</u> で、A4判もしくはレターサイズの用紙、11ポイントのフォント、ダブル・スペースで、4,000字（日本語の場合）、2,000語（英語の場合）以内にまとめ、（交付の表紙を付したものを1部提出してください）。
9	口述試験参考資料	全員	交付の用紙に必要事項を記入してください。
10	研究歴を証明する書類	該当者	大学教育修了までの学校教育の課程が十六年に満たない者のみ。
11	受験票送付用封筒	全員	【日本国内に在住の者】 長形3号封筒（ハガキが入る大きさ）に、簡易書留相当分の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。 【日本国外に在住の者】 受験票送付用封筒の提出は不要です。 受験票を電子メールで送付しますので、志願票の現住所欄に必ず電子メールアドレスをわかりやすく記載してください。また、試験7日前までに受験票が届かない場合には、必ず問い合わせてください。
12	住民票の写し（またはパスポートの写し）	外国籍を有する者	市区町村長が交付する住民票の写し（在留期間、在留資格を明記したもの）を提出してください。ただし、住民票の写しの発行が不可能な場合のみ、代わりにパスポートの写しを提出してください。
13	検定料 30,000円	全員	日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。 【日本国内に在住の者】 銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより検定料30,000円を納付してください。※いずれの場合においても、振込手数料、支払手数料は各自で負担してください。 ・銀行振込の場合 以下の口座へ振り込み、明細書の写しを出願書類と一緒に提出してください（原本を提出しても希望がなければ返却はいたしません）。 銀行名： 三井住友銀行 SWIFT Code： SMBCJPJT 支店名： 国立支店 銀行住所： 東京都国立市中1丁目8-45 口座名： 国立大学法人一橋大学経済学研究科検定料口座 支店コード： 666

	<p>(「検定料」の 続き)</p>		<p>口座番号：普通預金 7761762 受取人住所： 東京都国立市中2-1 受取人電話番号： 042-580-8078</p> <p>・コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合 本学の下記WEBサイトから検定料支払サイトへアクセスし、事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードにより検定料を納付してください。 <a href="https://www.hit-u.ac.jp/admission/postgraduates/announce.html">https://www.hit-u.ac.jp/admission/postgraduates/announce.html</a> 支払い後、コンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソンまたはミニストップ）決済の場合は、店舗で発行される「収納証明書」を出願書類と一緒に提出してください。その他のコンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合は、検定料支払サイトで申込内容照会結果から「収納証明書」を印刷し、出願書類と一緒に提出してください。 ※支払い方法の詳細は、上記の本学WEBサイトに掲載の「一橋大学大学院検定料払込方法」を参照してください。 ※支払いサイトでの支払い手順等については、同サイトの「よくある質問（FAQ）」を確認の上、「E-サービスサポートセンター」に問い合わせてください。</p>
			<p>【日本国外に在住の者】</p> <p>・クレジットカードでのお支払い 手順は次のリンクにあります。 <a href="https://www.hit-u.ac.jp/admission/postgraduates/announce.html">https://www.hit-u.ac.jp/admission/postgraduates/announce.html</a></p>

注1) 志願者が記入する書類は、できる限り以下の Web ページ（経済学研究科大学院入試情報）に掲載されている Word 形式および Excel 形式のファイルに入力したものを印刷してください。

[https://www.econ.hit-u.ac.jp/jpn/page/examinee/graduate\\_admissions/requirements.html](https://www.econ.hit-u.ac.jp/jpn/page/examinee/graduate_admissions/requirements.html)

注2) 提出書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語または英語訳を添付してください。

#### 4. 出 願 方 法

- (1) 研究者養成コースと専修コースとの併願は認めません。出願後のコースの変更も認めません。
- (2) 志願者は、上記の出願書類を一括し（書類は上から上記の番号順になるように封入してください）、郵送（書留郵便）により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書し、出願期間内に必着とします。
- (3) 出 願 期 間  
2021年12月6日（月）から12月10日（金）まで
- (4) 出願書類の提出先  
〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科

#### 5. 選 考 方 法

一次選考では、成績証明書、学業評価書、研究計画書、外部試験の成績を総合して選抜を行います。一次選考合格者に対して二次選考を行います。二次選考では、一次選考および口述試験の結果を総合して合否を決定します。

## 6. 口 述 試 験

一次選考の合格者に対して、オンライン（『Zoom』の使用を予定）にて口述試験を行います。志願票に「英語による口述試験を希望する」と書いた受験者については、希望を考慮します。ただし、審査員が日本語での試験が必要と判断する場合には、その限りではありません。

### (1) 口述試験期日・時間・方法

期 日	試 験 時 間	試 験 方 法
2022年2月3日（木）、 4日（金）	9：20～17：00	研究計画書およびそれに関連する経済学の専門分野についてオンラインにて口述試験を行います。

### (2) 時間割の発表

口述試験の時間割は、2022年2月2日（水）13時頃に、Eメールにて通知します。

## 7. 合 格 者 発 表

一次選考合格者は、2022年1月24日（月）13時に、二次選考合格者は2022年2月17日（木）13時に、大学院入試関係掲示板（法人本部棟南）および経済学研究科ウェブサイトに掲示します。

なお、二次選考合格者には個別に通知します。

## 8. 入 学 手 続 き

### (1) 入学料の納入期間

2022年2月28日（月）から3月4日（金）まで

この期間内に納入がない場合は、入学辞退者とみなされます。

### (2) 入学料の納入額

282,000円

注）本学には入学料の免除・徴収猶予の制度があります。入学料の免除・徴収猶予を希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。

### (3) その他

- ・入学手続きに必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。
- ・日本国籍を有しない合格者は、入学までに、「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有することが必要です。
- ・外国政府派遣留学生については、入学手続き時に派遣元機関からの入学承諾書が必要です。
- ・授業料（年額535,800円）については、入学後に納入することとなります。納入時期・納入方法については改めて通知します。
- ・入学料・授業料の納入金額は予定額であり、この納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

## 9. 注 意 事 項

(1) 入学試験に関する事務は、すべて経済学研究科事務室で行います。

(2) 入学試験に関する照会は、書面、電子メール（[econ-exam.gs\[at\]ad.hit-u.ac.jp](mailto:econ-exam.gs[at]ad.hit-u.ac.jp)）または、ファックス（042-580-8195）で行ってください。電話による問い合わせには応じられません。

(3) 試験の際には必ず受験票を持参してください。

- (4) 出願書類は返却しません。既納の検定料の払い戻しは行いません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません(ただし検定料振込明細書、パスポートならびに本人用 TOEFL 成績証明書の写しを除く)。
- (5) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

※国際学生館景明館および国際学生宿舎(学生寮)について

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎(学生寮)への入居希望者は、6月と12月(予定)に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。なお、6月は外国人留学生のみとなります。

▷日本人学生対象(日本への永住が許可されている者も含む)

<https://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

▷外国人留学生対象(「留学」の在留資格を有する者又は取得できる見込みの者)

[https://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/application\\_for\\_dorm/index.html](https://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/application_for_dorm/index.html)

学生区分により募集の資料の送付先や募集期間が異なります。

十分に注意して、上記のページから確認して下さい。

※障害等により受験上及び入学後の修学における配慮を希望される方へ

障害等があり受験上及び入学後の修学における特別な配慮を希望する者は、本研究科の出願期間の1ヶ月前までを目安に、経済学研究科事務室に事前相談の申請をしてください(上記日以降にも相談申請を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことや、修学上の配慮については希望日に開始できないこともあります。)事前相談の申請は、本学への出願を義務付けるものではありません。本研究科への出願が未定であっても事前相談申請を受け付けております。なお、希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。

・JEL コード

志願票に記入する「JEL コード」は、以下の表より3つまで選択し、希望する研究分野に近い順に、該当するアルファベットを記入してください。

詳細な分類はアメリカ経済学会 (American Economic Association) のウェブサイト

<https://www.aeaweb.org/econlit/jelCodes.php?view=jel> を参照してください。

A	General Economics and Teaching
B	History of Economic Thought, Methodology, and Heterodox Approaches
C	Mathematical and Quantitative Methods
D	Microeconomics
E	Macroeconomics and Monetary Economics
F	International Economics
G	Financial Economics
H	Public Economics
I	Health, Education, and Welfare
J	Labor and Demographic Economics
K	Law and Economics
L	Industrial Organization
M	Business Administration and Business Economics · Marketing · Accounting · Personnel Economics
N	Economic History
O	Economic Development, Innovation, Technological Change, and Growth
P	Economic Systems
Q	Agricultural and Natural Resource Economics · Environmental and Ecological Economics
R	Urban, Rural, Regional, Real Estate, and Transportation Economics
Y	Miscellaneous Categories
Z	Other Special Topics





2022年度  
一橋大学大学院修士課程(春季入試)  
入学試験写真票

経済学研究科	受験番号 ※
--------	--------

氏名	(フリガナ)	男・女
	(自国語表記)	
	(英語表記)	
年 月 日生		

**写真貼付欄**

1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しくしっかりと貼ること。
2. 写真の裏面に氏名を記入すること。
3. 眼鏡の有無の違いや画像の修整等により、試験当日の本人の容姿と大きく異なるものは使用不可。

口述	※
----	---

記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと
- 2 性別を○で囲むこと

# 学業評価書

志願者	氏名
記入欄	今までの学習状況や研究成果、将来の研究計画、志願者について特記すべき能力など、参考となる点をなるべく具体的にご記入ください。

年 月 日

評価者

(大学名等)

(職名等)

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊞

(連絡先)

E-mail:

Tel:

評価書の内容について問い合わせさせていただく場合がございますので、連絡先情報も必ずご記入ください。

受験番号
※記入しないこと

2022年度

一橋大学大学院経済学研究科  
修士課程学生募集要項(春季入試)  
入学志願者研究計画書

( 研究者養成コース ・ 専修コース )

(志望コースを○で囲むこと)

研究テーマ

---

氏 名

---

- 注意
1. 左綴じとすること。
  2. ※印欄には記入しないこと。

2022年度一橋大学大学院経済学研究科  
 修士課程学生募集要項（春季入試）  
 入学志願者口述試験参考資料

志願研究科	受験番号
経済学研究科	※記入しないこと

氏 名	(フリガナ)

1. 英語での口述試験実施の希望有無  
 (希望する場合、欄内に○をつけること)

希望する	
------	--

2. 志願者の母国語（それに準ずるものを含む）

\_\_\_\_\_ 語

3. 母国語以外に修得した外国語（日本語を除く）

\_\_\_\_\_ 語

\_\_\_\_\_ 語

	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

	よくできる	普通	やや困難
読む			
書く			
話す			

(それぞれの外国語について、該当する欄に○をつけること。)

注意 ※印欄には記入しないこと。

## 一橋大学大学院経済学研究科要覧

- 1 大学院は、一般的並びに専門的教養を基礎として、社会科学の専攻分野を究め、高い学識と研究能力を養うことによって広く文化の向上発展に寄与すること又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより社会に貢献することを目的及び使命とする。(学則第33条)
- 2 本学大学院経済学研究科には、下記に掲げる授業科目がある。

### ○コア科目

上級マイクロ経済学	上級マクロ経済学	上級計量経済学	比較経済史Ⅰ・Ⅱ
中級マイクロ経済学	中級マクロ経済学	中級計量経済学	

### ○マイクロ経済学

上級マイクロ経済学	中級マイクロ経済学	上級理論経済学Ⅰ・Ⅱ	経済数学Ⅰ・Ⅱ	数理経済学
経済システム論Ⅰ・Ⅱ	ゲーム理論Ⅰ・Ⅱ	特別講義(契約と組織の経済学)	特別講義(マーケット・デザイン)	上級国際経済学Ⅰ・Ⅱ
国際経済政策論Ⅰ・Ⅱ	国際経済開発論Ⅰ・Ⅱ	上級労働経済学Ⅰ・Ⅱ	人的資源論	上級産業経済学Ⅰ・Ⅱ
都市空間論	産業地理学	経済立地論Ⅰ・Ⅱ	経済社会空間論	公共経済学Ⅰ・Ⅱ
公共経済特論A～F	Contemporary Public Policy A～F		租税理論	公共支出論A・B
法と経済学	医療経済学セミナー	医療経済分析	医療工学概論	医療経済論Ⅱ
医療保険論	医療産業論	健康増進政策論・医学総論	医療管理政策論	保健医療活動とリスク管理
上級環境経済学Ⅰ・Ⅱ	上級資源経済学Ⅰ・Ⅱ	上級技術経済学Ⅰ・Ⅱ	環境・資源経済分析A～F	上級現代経済論Ⅰ・Ⅱ
実験経済学	特別講義(Behavioral Topics)	上級開発経済学A～F	比較経済発展論	地域開発論
開発政策論	開発途上地域論	開発情報システム論	産業開発論	開発金融論
特別講義(アジア開発金融論)	開発援助論	開発と環境	応用マイクロ経済学A～F	

### ○マクロ経済学

上級マクロ経済学	中級マクロ経済学	上級現代経済論Ⅰ・Ⅱ	マクロ経済特論A～F	国際通貨論
国際経済機構論	国際経済関係論	応用マクロ経済学A～F	特別講義(Value Investing in Asia)	

### ○経済統計・計量経済・情報数理

上級計量経済学	中級計量経済学	計量経済学特論A～F	上級統計学Ⅰ・Ⅱ	確率論Ⅰ・Ⅱ
確率・統計特論A～F	中級計量ファイナンス	計量ファイナンスA・B	ファイナンス経済論A・B	計量ファイナンス特論A～F
特別講義(金融工学とリスクマネジメント)		経済データ分析論	統計調査論	数理構造Ⅰ・Ⅱ
数理解析Ⅰ・Ⅱ	古典解析	応用数理	比較統計システム論	

### ○政治経済学・経済思想

上級政治経済学Ⅰ・Ⅱ	経済体制特論	経済システム論Ⅰ・Ⅱ	経済学史応用Ⅰ・Ⅱ	比較経済システム論
比較経済思想	移行経済論	新興市場経済論	各国経済思潮A・B	

### ○経済史

比較経済史	現代経済史	文明史	経済史特殊問題	西洋経済史
東洋経済史	日本経済史	比較経済システム論	比較経済発展論A～F	

### ○地域経済

日本経済論	地域経済論A～F	地域研究方法論	日本経済特論	東アジア経済特論
南アジア経済特論	西アジア経済特論	地域経済各論(日本)	地域経済各論(アジア・オセアニア)	地域経済各論(アフリカ・中近東)
地域経済各論(アメリカ)	地域経済各論(ヨーロッパ)	地域経済各論(ロシア・中東欧)	地域開発論	開発途上地域論
移行経済論	新興市場経済論	各国経済思潮A・B		

### ○語学・演習・ワークショップ等

Academic and Professional PresentationsⅠ・Ⅱ	Research-Based Academic WritingⅠ・Ⅱ	経済学研究の日本語(留学生用)
演習	ワークショップ	インディペンデント・スタディ
副ゼミナール	リサーチ・ワークショップ	

### ○EBPMプログラム特別科目(博士後期課程)

EBPM概論(コア科目)	EBPM演習	EBPMワークショップ
--------------	--------	-------------

- 3 修士課程では、2年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 4 博士後期課程は、3年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 5 いずれの課程においても、特に優秀と認められた学生には、特例として在学期間の短縮が認められる。
- 6 EBPMプログラム修了時には、博士学位とともにEBPMプログラム修了証書が授与される。

2022年度 一橋大学大学院経済学研究科担当教員一覧(予定)

〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕	〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕
阿部 修人 ABE, Naohito	教授	マクロ経済学、日本経済論、家計消費	岡田 羊祐 OKADA, Yosuke	教授	産業組織論、競争政策、規制政策
有本 寛 ARIMOTO, Yutaka	准教授	開発経済学、日本経済史、農業経済学	岡室 博之 OKAMURO, Hiroyuki	教授	産業組織論、企業経済学
榎本 武文 ENOMOTO, Takefumi	准教授	ルネサンス期における人文主義・修辞学、ルネサンス期における古典学研究	小塩 隆士 OSHIO, Takashi	教授	公共経済学、社会保障
藤嶋 翔太 FUJISHIMA, Shota	准教授	都市・地域経済学、ネットワークの経済学	大月 康弘 OTSUKI, Yasuhiro	教授	経済史、西洋中世史、地中海地域研究
平田 大祐 HIRATA, Daisuke	准教授	組織の経済学、マーケット・デザイン	笹倉 一広 SASAKURA, Kazuhiro	准教授	各国経済思潮・中国
本田 文子 HONDA, Ayako	教授	医療経済学、アジア・アフリカの保健・医療政策	佐藤 主光 SATO, Motohiro	教授	財政学、公共経済学
本田 敏雄 HONDA, Toshio	教授	数理統計学、計量経済学	佐藤 進 SATO, Susumu	講師	産業組織論
堀 雅博 HORI, Masahiro	教授	日本・アジア経済論、計量実証分析	澤田 真行 SAWADA, Masayuki	講師	計量経済学、労働経済学
井伊 雅子 II, Masako	教授	医療経済学、公共経済学	関根 敏隆 SEKINE, Toshitaka	教授	中央銀行論、金融論、マクロ経済学
磯部 健志 ISOBE, Takeshi	教授	数学、解析学	塩路 悦朗 SHIOJI, Etsuro	教授	マクロ経済学、日本のマクロ経済
祝迫 得夫 IWASAKO, Tokuo	教授	ファイナンス、実証マクロ経済学	杉田 洋一 SUGITA, Yoichi	准教授	国際貿易論、産業組織論
岩崎 一郎 IWASAKI, Ichiro	教授	比較経済論、移行経済論	蓼沼 宏一 TADENUMA, Koichi	教授	社会的選択理論、厚生経済学、ゲーム理論
陣内 了 JINNAI, Ryo	准教授	マクロ経済学、金融論	高橋 悠太 TAKAHASHI, Yuta	講師	マクロ経済学、国際貿易
神林 龍 KAMBAYASHI, Ryo	教授	労働経済学、経済発展、法と経済学	高久 玲音 TAKAKU, Reo	准教授	医療経済学、医療政策
加納 隆 KANO, Takashi	教授	マクロ経済学、国際金融論	高山 直樹 TAKAYAMA, Naoki	講師	マクロ経済学、労働経済学
川平 友規 KAWAHIRA, Tomoki	教授	数学、解析学	高柳 友彦 TAKAYANAGI, Tomohiko	講師	近現代日本経済史、近現代日本史
雲 和広 KUMO, Kazuhiro	教授	移行経済論、ロシア経済論	武岡 則男 TAKEOKA, Norio	教授	公理的意思決定理論、ミクロ経済学
黒崎 卓 KUROSAKI, Takashi	教授	開発経済学、農業経済学、アジア経済論	竹内 幹 TAKEUCHI, Kan	准教授	行動経済学、実験経済学
黒住 英司 KUROZUMI, Eiji	教授	時系列分析、計量経済学	田中 万理 TANAKA, Mari	准教授	開発経済学、労働経済学、国際貿易
桑名 陽一 KUWANA, Yoichi	准教授	数理統計学、応用確率論	田中 雅行 TANAKA, Masayuki	准教授	統計調査論
馬 徳斌 MA, Debin	教授	経済史、中国経済史	手島 健介 TESHIMA, Kensuke	准教授	国際貿易論、開発経済学
マクレラン フィリップ MACLELLAN, Philip	教授	行動経済学、質的研究、事例研究、社会的学習理論、第二言語習得	富浦 英一 TOMIURA, Eiichi	教授	国際経済学、応用計量経済学、日本貿易産業論
真野 裕吉 MANO, Yukichi	准教授	開発経済学、地域経済学	友部 謙一 TOMOBE, Kenichi	教授	日本経済史近世以降、歴史人口学
松下 幸敏 MATSUSHITA, Yukitoshi	教授	計量経済学	植杉 威一郎 UESUGI, Ichihiro	教授	企業金融、中小企業、日本経済論
南 裕子 MINAMI, Yuko	准教授	現代中国社会学論、地域社会学	宇井 貴志 UI, Takashi	教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
森 宜人 MORI, Takahito	教授	西洋経済史、ヨーロッパ都市史	臼井 恵美子 USUI, Emiko	教授	労働経済学、女性と家族の経済学
森口 千晶 MORIGUCHI, Chiaki	教授	比較経済史、比較制度分析、家族の経済学	渡部 敏明 WATANABE, Toshiaki	教授	計量ファイナンス、マクロ計量分析
森川 正之 MORIKAWA, Masayuki	教授	経済政策、日本経済論、応用ミクロ経済学	山田 俊皓 YAMADA, Toshihiro	准教授	確率数値解析、ファイナンス数学
森田 徳高 MORITA, Hodaka	教授	産業組織論、組織経済学	山本 庸平 YAMAMOTO, Yohei	教授	計量経済学、マクロ経済分析、国際金融
中村 良太 NAKAMURA, Ryota	准教授	医療経済学	山本 裕一 YAMAMOTO, Yuichi	准教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
中山 能力 NAKAYAMA, Chikara	教授	数学、代数学	山重 慎二 YAMASHIGE, Shinji	教授	財政学、公共経済学、社会政策
西出 勝正 NISHIDE, Katsumasa	教授	金融工学、金融経済学	山下 英俊 YAMASHITA, Hidetoshi	准教授	環境・資源経済学、廃棄物政策、エネルギー政策
ノラット マシュー NOELLERT, Matthew	准教授	東洋経済史、現代中国史、数量経済史	横山 泉 YOKOYAMA, Izumi	准教授	労働経済学、応用計量経済学

○教員の詳細については、以下ウェブページを参照してください。

<https://hri.ad.hit-u.ac.jp>